

平成 30 年 5 月 31 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26370316

研究課題名(和文) 環境汚染問題への英語圏モダニズムの文化的介入法を分析する

研究課題名(英文) Cultural analysis on ecological problems in the post British Empire

研究代表者

山田 雄三 (Yamada, Yuzo)

大阪大学・文学研究科・准教授

研究者番号：10273715

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,100,000円

研究成果の概要(和文)：平成26年度から29年度にかけて、次のような役割分担のもと研究を実施した。

(1) 水俣に関しては、炭坑共同体と水俣に関わったモダニスト集団「サークル村」を中心に研究を行った。その集団活動のなかから、水俣病患者を表象する手法として、ルポルタージュ形式や「わたし」語りが生じた経緯を明らかにした。(山田)

(2) 一連の調査結果をまとめた論文では、仏領ポリネシアでの核実験で故郷を追われたクジラの群を描くマオリ作家イヒマエラの小説のクジラの視点から開示される海底の物語に、英米仏による核実験で移動を余儀なくされた太平洋諸島の民間被爆者の物語を論じた。(小杉)

研究成果の概要(英文)：Yuzo Yamada and Kosugi Sei were engaged in the following respective fields in the academic years from 2014 to 2017: (1)The modernists' approach to the ecological problems in South Wales and Minamata (Yamada) and (2)Post-industrial societies and literature in the Oceania nation-states.

(1) Yamada examined how reportage and first-person narratives were drawn on for representing the victims of environmental pollution.

(2) Kosugi revealed that the Oceanian people's reactions to the nuclear tests were inscribed not only in their folktale but also Witi Ihimaera's novels about whales.

研究分野：英語圏文学

キーワード：共同体と言語 ルポルタージュ 核実験と環境 被爆者の語り

1. 研究開始当初の背景

Raymond Williams や Stuart Hall は、CS の鼻祖として階級や移民の問題を初めてアジェンダとしたことが強調されることはあっても、彼らの環境問題への取り組みや、それとモダニズム政治との関係について包括的に扱った研究は、国内外見回しても少ないのが現状である。

2. 研究の目的

(1) 歴史の「読み直し」論では、第二次世界大戦終結期に顕著な帝国の縮小とモダニズムの衰退が強引に結びつけられるあまり、20世紀の長い期間、世界規模で起こる脱帝国化と移民など人口移動にともなうモダニズム刷新の動向が等閑視されてしまっている。本研究ではその不備を補うため、1950年代からの大量生産・大量消費がもたらした環境破壊にモダニズムがどのように反応したかを詳らかにすることをおもな目的としている。

(2) 本研究は英語圏モダニズムの文学と政治とを接合する試みである。本研究では、これまでのモダニズム観を批判的にとらえ、産業社会の負の部分に照射する政治学としてモダニズムを定義しなおしたい。環境問題に介入することで、社会の諸関係を変えようとしたモダニズム政治の成功と挫折の道程を明らかにしたい。

3. 研究の方法

本研究を研究対象地域別にふたつに大別する。

(1) 研究代表者(山田)は研究目的で挙げたテーマのうち、石炭産業とモダニズムの関係を、平成26年度から27年度にかけて、ウェールズの図書館や成人教育機関に所蔵されている刊行物やシラバスを手掛かりに調査・分析する。

(2) 研究目的で挙げた目的のうち、太平洋の原子力産業の諸問題については、研究分担者(小杉)が平成26年から28年にかけて、ハワイ、キリバス等の諸島に赴き、核を題材とした読み物や映像資料の調査を実施する。

(3) また、研究目的で挙げた目的のうち水俣の環境問題については、代表者が水俣学の中核である熊本学園大学において、平成28年に集中的に文献調査・情報収集にあたる。最終年度の平成29年には、全研究期間の調査で不十分であった部分を補い、研究を総括するとともに仮説を提示することを目指す。

4. 研究成果

(1) 南ウェールズにおける石炭作業とモダニズム(担当:山田雄三): 大阪大学での講演に招いた Daniel G. Williams 教授(Swansea University)の講演記録を整理するうちに、南ウェールズ地域における bilingualism の問題の重要性に気づいた。そこでウェールズ語と英語との bilingualism もテーマとして取り上げた小説家 Margiad Evans, Glyn Jones, Emyr Humphreys の小説について、そのモダニズム的側面と bilingualism との関係についてテキスト分析を行った。この研

究成果は、平成26年10月に開催されたヴァージニア・ウルフ協会のシンポジウムにおいて、口頭にて発表した。

(2) オセアニア地域におけるポスト石炭産業と文学(担当:小杉世): 平成26年9月に小杉が、仏領ポリネシアの大学図書館で、冷戦期の核実験に関する文献・視聴覚資料を閲覧、現地の出版関係者から関連文献の出版状況について情報を得るほか、自治独立を求めた政治家 Po uvanaa a Oopa に関する最近の研究書などを入手した。また、タヒチ人作家 Moetai Brotherson、核実験犠牲者の補償問題に取り組む NGO (Moruroa e Tatou) の代表者 Roland Oldham にインタビューを行った。平成27年3月の小杉の学会発表では、地球温暖化や海洋汚染、鉱山開発による土地荒廃や核実験に対して、Hone Tuwhare や Lemi Ponifasio などのオセアニアの舞台芸術や詩、絵画が発するメッセージを論じた。平成27年10月にキリバス共和国における現地調査を行った。タラワ島のナニカイ村の障害者からなる共同体 (Te Toa Matoa) の環境劇の取り組みについての調査を行い、そのメンバーのライフ・ストーリーを聞くことで、キリバスの植民地時代とその後の生活の現状が島民の健康に与えた影響について考察を試みた。平成27年5月に発行した論文では、ニュージーランドの作家 Janet Frame の詩と Colin McCahon の絵画に見られる核の表象を論じている。平成28年度、小杉は英米による核実験が行われたクリスマス島で調査を行った。実験当時、島に在住していたキリバス人民間人の被爆者たちが共同体を形成するタブアケア村で、被爆一世を中心に、実験当時の記憶とその後の生活の変化について、ライフ・ヒストリーを聞き取った。平成29年4月に発行された論文の一篇では仏領ポリネシアでの核実験で故郷を追われたクジラの群を描くマオリ作家イヒマエラの小説のクジラの視点から開示される海底の物語に福島原発事故後の放射能汚染影響下にある海の生物や、英米仏による核実験で移動を余儀なくされたり、一部は補償も認められていない太平洋諸島国家の民間被爆者たちの物語を重ねて論じた。平成29年度には、キリバスの民間人被ばく者のインタビューとその他の記録のキリバス語から英語への翻訳編集作業を現地の協力者と共に行い、おもに除染に関わる記憶をめぐる補足の聞き取り調査を行った。加えて、マーシャル諸島の核実験や地球温暖化に関する文学作品の分析も行った。

(3) 「水俣学」の遺産(山田): 第二次世界大戦後に石炭から石油へのエネルギー転換が起きると、ウェールズや九州では 廃坑が相次いだ。九州最大の筑豊炭田で失業者した人びとのなかには、基幹産業となりつつあった石油化学産業に職を求めることとなる。そし

て、この産業でも優良企業とされていたチッソの水俣工場で、その排水が原因で、1950年代の終わりに水俣病が発生する。この時期、炭坑共同体と水俣に関わったモダニスト集団に石牟礼道子がいる「サークル村」があった。その活動のなかから、多様な文学のフォームが生まれている。そのなかでも、平成 28 年度は水俣病患者を表象する手法として、「わたし」語りが誕生した経緯を明らかにした。平成 29 年度には、第二次産業の共同体と水俣に関わったモダニスト作家を中心に多様な文学フォームの研究を行った。そのなかでも、労働者や水俣病患者を表象する手法として、ルポルタージュ形式が発展した経緯を明らかにした。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 6 件)

山田 雄三、特集「モダニズムはいつだったのか - 山田雄三著『ニューレフトと呼ばれたモダニストたち』討議、レイモンド・ウィリアムズ研究、査読無、4 巻、2014、57-114

山田 雄三、遺産としてのモダニズム / 運動としてのモダニズム、ヴァージニア・ウルフ研究、査読有、32 巻、2015、95-106

小杉 世、オセアニアと暗黒舞踏 - 近代と土着、普遍性と個別性をめぐる考察、ポストコロニアル・フォーメーションズ、査読無、9 巻、2014、13-22

小杉 世、Janet Frame と Colin McCahon - ニュージーランド 1960 年代の詩と絵画の邂逅、ポストコロニアル・フォーメーションズ、査読無、10 巻、2015、49-60

小杉 世、環境芸術と政治 - 鉱山開発、エコテロリズム、地球温暖化、非核南太平洋、ポストコロニアル・フォーメーションズ、査読無、11 巻、2016、15-26

小杉 世、マーシャル諸島から太平洋を越えて - Robert Barclay の小説と Kathy Jetnil-Kijiner の詩を中心に、ポストコロニアル・フォーメーションズ、査読無、12 巻、2016、27-40

[学会発表](計 11 件)

山田 雄三、管見 - モダニズム文学の人称と時制、阪大英文学会、大阪大学、2014 年 10 月 18 日

山田 雄三、シンポジウム「「メタモダニズム」とは - 現代文学とウルフそして / あるいはモダニズムの継承」という問題、日本ヴァージニア・ウルフ協会全国大会、相愛大学、2014 年 11 月 16 日

Yuzo YAMADA, Alun Richards in the Empire of Icons, The Association for Welsh Writing in English Annual Conference 2016, Newtown, United Kingdom, 2 April 2016

Yuzo YAMADA, Tokunaga Sunao's Reportage: The Unreliable Representation of the Proletariat, Selective Tradition in the Pacific: A Conference on Class, Writing, and Culture, Victoria University of Wellington, New Zealand, 1 September 2017

小杉 世、環境と芸術 - ヴァヌアツ・キリバスのコミュニティシアターとレミ・ポニファシオ (MAU) の舞台芸術、日本オセアニア学会研究大会、田沢湖公民館他、2015 年 3 月 27、28 日

Sei KOSUGI, Empires, Culture and Memories: Lemi Ponifasio's Planetary Imagination and Performing Arts in Oceania, The 21st Annual Conference of the New Zealand Studies Association, University of Vienna, Austria, 4 July 2015

小杉 世、ニュージーランドから見た太平洋核実験 - キリバス、仏領ポリネシアを中心に、国立民俗学博物館共同研究プロジェクト研究会、国立民族学博物館、2016 年 6 月 11 日

小杉 世、オセアニアの環境芸術と文学、日本オセアニア学会研究大会、松江しんじ湖温泉すいてんかく、2017 年 3 月 26、27 日

Sei KOSUGI, Environmental Arts and Literature Across the Pacific, The 23rd annual conference of the New Zealand Studies Association, University of Strasbourg, France, 7-10 July 2017.

Sei KOSUGI, Lemi Ponifasio's Planetary Imagination and Performing Arts in Oceania, The Pacific Arts

Association (PAA) Conference: Making the Invisible Visible, National University of Samoa, Apia, 27 November-1 December 2017

小杉 世、マーシャル諸島をめぐる小説と詩にみるコロニアリズムと環境の問題、日本オセアニア学会関西地区例会、同志社大学、2018年1月20日

〔図書〕(計 5 件)

山田 雄三他編、英宝社、英語で読む現代社会の文化・社会・言語 - 植民地主義からグローバリゼーションへ、2015、1-70

山田 雄三他訳、みすず書房、レイモンド・ウィリアムズ著「想像力の時制 - 文化研究 II」、2015、i-vii, 1-389

Sei KOSUGI et al., Routledge, Performing Identities: Celebrating Indigeneity in the Arts, 2015, 1-382

小杉 世他、音羽書房鶴見書店、土着と近代 - グローカルの大洋を行く英語圏文学、2015、i-iv, 1-362

小杉 世他、彩流社、オーストラリア・ニュージーランド文学論集、2017、1-261+31 (年表・索引)

〔産業財産権〕

○出願状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況 (計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6 . 研究組織

(1)研究代表者

山田 雄三 (YAMADA, Yuzo)
大阪大学・大学院文学研究科・准教授
研究者番号：10273715

(2)研究分担者

小杉 世 (KOSUGI, Sei)
大阪大学・大学院言語文化研究科・准教授
研究者番号：40324834

(3)連携研究者

()

研究者番号：

(4)研究協力者

()